



松本に到着し、家族との再会を喜ぶ生徒ら

イギリス研修終え帰国

松本秀峰4年 同世代と英語で交流

松本市の松本秀峰中等教育学校の4学年(第1期生)81人が18日、イギリスの研修旅行から帰国した。7日に松本を出発し、首都ロンドンやケンブリッジ市でホームステイなどをしながら、語学研修や企業研修、現地の中等教育学校との交流など、密度の濃い時間を過ごした。

成田空港からバス2台でJR松本駅アルプス口に到着した生徒た

ちは、保護者との久しぶりの再会を喜んだ。井上朋香さん(15)は、中等教育学校の生徒との交流が印象に残っているといい、「同世代の人と英語で話ができよかった」と笑顔を見せていた。

海外研修は、従来の人生観や価値観を覆すような「出会い」で生徒の意識改革を促し、英語によるコミュニケーション

「シヨンに自信と意欲を持たせることなどを狙いに実施した。」「survive(困難を切り抜ける)」をサブテーマに、自分で判断・行動することを意識した。引率した教員は「いろいろな人種の人と触れ合い、常識や視野が広がったと思う」と話し、生徒の成長に期待していた。

(赤羽洋輔)